

## 村上市総合計画審議会 議事録

会議名	第3回 村上市総合計画審議会																																																																																										
年月日	平成27年10月29日(木) 14:00~16:10																																																																																										
会場	村上市役所本庁 4階大会議室																																																																																										
出席者	<p><b>【委員】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">荒川地区地域審議会</td> <td style="width: 20%;">会長</td> <td style="width: 30%;">会田 健次</td> </tr> <tr> <td>村上市観光協会</td> <td>会長</td> <td>浅野 謙一</td> </tr> <tr> <td>一般公募</td> <td></td> <td>板垣 真</td> </tr> <tr> <td>村上市金融団</td> <td></td> <td>漆山 淳哉</td> </tr> <tr> <td>神林地区地域審議会</td> <td>会長</td> <td>大嶋 芳美</td> </tr> <tr> <td>朝日地区地域審議会</td> <td>副会長</td> <td>大滝 重秋(欠席)</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人村上市建設業協会</td> <td>会長</td> <td>加藤 幹司</td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人おたすけさんぼく</td> <td>理事長</td> <td>加藤 英人(欠席)</td> </tr> <tr> <td>村上商工会議所</td> <td>会頭</td> <td>齋藤 茂</td> </tr> <tr> <td>一般公募</td> <td></td> <td>齋藤 俊則</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人村上市岩船郡医師会</td> <td>会長</td> <td>佐々木 誠司(欠席)</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人村上市社会福祉協議会</td> <td>会長</td> <td>佐藤 芳男</td> </tr> <tr> <td>新潟県村上地域振興局</td> <td>局長</td> <td>田辺 敏夫</td> </tr> <tr> <td>村上市地域農業活性化検討会</td> <td>座長</td> <td>忠 聡</td> </tr> <tr> <td>山北地区地域審議会</td> <td>会長</td> <td>富樫 保晴</td> </tr> <tr> <td>村上公共職業安定所</td> <td>所長</td> <td>長柄 肇</td> </tr> <tr> <td>村上市岩船郡PTA協議会</td> <td>理事</td> <td>八藤後 瑞枝</td> </tr> <tr> <td>村上地区地域審議会</td> <td>会長</td> <td>山口 治雄</td> </tr> <tr> <td>学校法人北都健勝学園新潟リハビリテーション大学</td> <td>学長</td> <td>山村 千絵</td> </tr> <tr> <td>村上地域水産業再生委員会</td> <td>会長</td> <td>脇坂 三重城</td> </tr> <tr> <td>一般公募</td> <td></td> <td>渡辺 ひろみ</td> </tr> <tr> <td>NPO法人希楽々</td> <td>ゼネラルマネージャー・副理事長</td> <td>渡辺 優子</td> </tr> </table> <p><b>【事務局】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">村上市 政策推進課</td> <td style="width: 20%;">課長</td> <td style="width: 30%;">渡辺 正信</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課</td> <td>参事</td> <td>竹内 和広</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>副参事</td> <td>田中 和仁</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>係長</td> <td>田村 政和</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>主査</td> <td>渡辺 真吾</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>主事</td> <td>石平 悠佳</td> </tr> </table> <p><b>【コンサルタント事業者】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">エヌシーイー株式会社 都市環境部</td> <td style="width: 40%;">小見 直樹</td> </tr> <tr> <td>エヌシーイー株式会社 都市環境部</td> <td>吉川 佐和</td> </tr> </table>			荒川地区地域審議会	会長	会田 健次	村上市観光協会	会長	浅野 謙一	一般公募		板垣 真	村上市金融団		漆山 淳哉	神林地区地域審議会	会長	大嶋 芳美	朝日地区地域審議会	副会長	大滝 重秋(欠席)	一般社団法人村上市建設業協会	会長	加藤 幹司	特定非営利活動法人おたすけさんぼく	理事長	加藤 英人(欠席)	村上商工会議所	会頭	齋藤 茂	一般公募		齋藤 俊則	一般社団法人村上市岩船郡医師会	会長	佐々木 誠司(欠席)	社会福祉法人村上市社会福祉協議会	会長	佐藤 芳男	新潟県村上地域振興局	局長	田辺 敏夫	村上市地域農業活性化検討会	座長	忠 聡	山北地区地域審議会	会長	富樫 保晴	村上公共職業安定所	所長	長柄 肇	村上市岩船郡PTA協議会	理事	八藤後 瑞枝	村上地区地域審議会	会長	山口 治雄	学校法人北都健勝学園新潟リハビリテーション大学	学長	山村 千絵	村上地域水産業再生委員会	会長	脇坂 三重城	一般公募		渡辺 ひろみ	NPO法人希楽々	ゼネラルマネージャー・副理事長	渡辺 優子	村上市 政策推進課	課長	渡辺 正信	村上市 政策推進課	参事	竹内 和広	村上市 政策推進課 企画政策室	副参事	田中 和仁	村上市 政策推進課 企画政策室	係長	田村 政和	村上市 政策推進課 企画政策室	主査	渡辺 真吾	村上市 政策推進課 企画政策室	主事	石平 悠佳	エヌシーイー株式会社 都市環境部	小見 直樹	エヌシーイー株式会社 都市環境部	吉川 佐和
荒川地区地域審議会	会長	会田 健次																																																																																									
村上市観光協会	会長	浅野 謙一																																																																																									
一般公募		板垣 真																																																																																									
村上市金融団		漆山 淳哉																																																																																									
神林地区地域審議会	会長	大嶋 芳美																																																																																									
朝日地区地域審議会	副会長	大滝 重秋(欠席)																																																																																									
一般社団法人村上市建設業協会	会長	加藤 幹司																																																																																									
特定非営利活動法人おたすけさんぼく	理事長	加藤 英人(欠席)																																																																																									
村上商工会議所	会頭	齋藤 茂																																																																																									
一般公募		齋藤 俊則																																																																																									
一般社団法人村上市岩船郡医師会	会長	佐々木 誠司(欠席)																																																																																									
社会福祉法人村上市社会福祉協議会	会長	佐藤 芳男																																																																																									
新潟県村上地域振興局	局長	田辺 敏夫																																																																																									
村上市地域農業活性化検討会	座長	忠 聡																																																																																									
山北地区地域審議会	会長	富樫 保晴																																																																																									
村上公共職業安定所	所長	長柄 肇																																																																																									
村上市岩船郡PTA協議会	理事	八藤後 瑞枝																																																																																									
村上地区地域審議会	会長	山口 治雄																																																																																									
学校法人北都健勝学園新潟リハビリテーション大学	学長	山村 千絵																																																																																									
村上地域水産業再生委員会	会長	脇坂 三重城																																																																																									
一般公募		渡辺 ひろみ																																																																																									
NPO法人希楽々	ゼネラルマネージャー・副理事長	渡辺 優子																																																																																									
村上市 政策推進課	課長	渡辺 正信																																																																																									
村上市 政策推進課	参事	竹内 和広																																																																																									
村上市 政策推進課 企画政策室	副参事	田中 和仁																																																																																									
村上市 政策推進課 企画政策室	係長	田村 政和																																																																																									
村上市 政策推進課 企画政策室	主査	渡辺 真吾																																																																																									
村上市 政策推進課 企画政策室	主事	石平 悠佳																																																																																									
エヌシーイー株式会社 都市環境部	小見 直樹																																																																																										
エヌシーイー株式会社 都市環境部	吉川 佐和																																																																																										
[進行]事務局	<p><b>1. 開会</b>          〈欠席委員の確認〉          ・大滝委員、加藤英人委員、佐々木委員の3名が欠席</p>																																																																																										
忠会長	<p><b>2. 会長挨拶</b>          〈あいさつ〉</p>																																																																																										

[説明]事務局	<p><b>3. 報告</b>  <b>(1) 総合戦略部会の審議状況について</b>  (資料1：総合戦略部会の審議状況について説明)</p>
忠会長	<p>内容については、後ほど議事の中でご協議いただくということでして、これまで3回の部会において主な事項をご説明いただきました。  皆さま方からご質問があれば、この中でお受けしたいと思いますが、よろしいでしょうか。特にないようであれば、このたび座長をお引き受けいただきました加藤座長さんより一言ご報告をお願いしたいと思います。</p>
加藤幹司委員	<p>座長を仰せつかりました加藤幹司でございます。今、ご説明がございましたように、3回の部会を経て今日に至っているわけでありまして。メンバーは9人で、それぞれ活発に活動されている団体より委員になられた方ばかりでありまして、大変豊かな見識のもとに活発な議論が交わされたわけです。  その内容につきましては、事務局がうまくまとめてくれましたので、皆さまからあらためてご審議いただき、ぜひこういう形でご推進をいただければ大変ありがたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。</p>
[説明]事務局	<p><b>4. 議事</b>  <b>(1) 村上市人口ビジョン（素案）について</b>  (資料2：村上市人口ビジョンについて説明)</p>
忠会長	<p>総合戦略部会に参加されていた委員の皆さま方には議論いただいてきておりましたので、この資料も今日は2回目になります。ほかの皆さま方につきましては、初めてご覧いただくわけですし、事前に配付されていたとは言えるものの、しっかりとした説明をいただいたのは今、初めてということになります。  どうぞ、自由なご意見、あるいはご質問があってよろしいかと思っておりますので、どなたからでも結構です。ご意見はありませんか。</p>
会田委員	<p>今ほど、最後のほうに、人口の将来展望の中に、目標設定はしないという言い方をされるわけですが、そのとおりなのでしょう。最後の32ページに、将来展望の3つのパターンがあるわけですが、これを示しただけで目標設定はしないということでしょうか。</p>
事務局	<p>32ページをご覧いただくと、1、2、3番と条件の設定をしたものが載っております。  ①はそのまま人口減少が進んだ場合ということで、社人研がまとめたものをそのまま載せて比較対象としました。  ②というのは、人口減少の合計特殊出生率というのを2.1まで引き上げるような設定をしました。さらに、今までの人口の流出を50%改善するという大きな設定を行い、それがずっと続いていくという設定をしました。  この3点について推計し、ここまで行けばどこまでのカーブを描けるというものをお示ししたところで留まっています。あくまでもそれは目標ではなくて、こういう例になるかもしれないという形で説明をさせていただいており、目標という形ではございません。</p>
会田委員	<p>村上市の人口ビジョンというわけなので、その目標設定がないというのは、私は腑に落ちないのですが、このような感じでよろしいのでしょうか。</p>

事務局	<p>ご指摘のように、2060年まできちんと目標人口で定めている自治体もございます。例えば、2060年を45,000人になるとした場合の、出生を見ていただきたいのですが、合計特殊出生率を2.15に到達する目標というのは、非常に困難であるというのが、私ども事務局の考えであります。</p> <p>もし、2.15にしようとしたら、全ての予算を出生数の増加に充て、そのほか何もできないぐらいのことをしないと達成できないのが現実であります。それよりも、45,000人というベースに行くために、村上市はこれだけの努力をしなければいけないですよ、というビジョンと、そのために5年間の総合戦略でありますので、5年後はどうしようという議論は、総合計画に盛り込むこととなりますので、その際にもう一回、目標という考え方を整理させていただきたいと思います。</p> <p>ビジョンについて、軽視しているわけではありませんが、目標として設定しないというのは、そこにも理由がございます。</p>
忠会長	<p>加藤座長さん、今のやり取りについて、部会のほうでも確かに議論があったところでありますが、ご発言があればお願いしたいと思います。</p>
加藤幹司委員	<p>確かにこの件につきましては、いろんな意見が出まして、ご説明のとおり、この計画につきましては、5年後にもう一度見直すということですから、先々、40年、70年の人口目標についてはあえて立てないで、そこら辺を射程においたらいいのではないかと、議論が集約されたという経緯がございましたので、ご理解を賜りたいと思っております。</p>
忠会長	<p>ほか、全般を通じてご意見、ご質問があればお受けしたいと思います。全国的に人口が減少しているような傾向であるわけですし、市内におきましても、全体的な見方、局地的に見た場合、さらにこれよりも大きな下降曲線を描くところも私はあるのではないかと、部会の中でも発言させていただきました。</p> <p>それゆえに、なかなかきちんとした目標を設定するには、かなり無理があるものになってしまうのではないかと。だとすれば、穏やかな表現ではありますけれども、みんなでその現象に対してどう立ち向かっていくのかということの問題意識というか、それを共有化する意味でもビジョンであってよろしいのではないかと、この人口ビジョンのまとめになるのではないかと考えておりますがよろしいでしょうか。</p>
田辺委員	<p>人口ビジョンでは、将来目標を示せないということですがけれども、村上市として、45,000人がいいか、38,000人か分かりませんが、将来的に減少していくと推計するのか、ある程度一定の定常状態を保つのか、そこのところを示したほうがいいのではないかと、今日感じたところです。</p> <p>要するにこれだと、38,000人では、まだどんどん減少していくということです。当然、人口減もそうですけれども、ある一定の時期に、やはり、村上市の人口は、定常状態に近づけていくということをうたったほうがよかったのかなと私は思います。やはり人口ビジョンを考えると、将来的には、ある程度一定に落ち着いて、その上で、インフラ整備などをやっていく。その辺は、村上市としてはどうしていくという意志を持った方がいいのかなと思いました。</p>
忠会長	<p>ありがとうございます。今のご意見につきましては、総合計画の中でさらにご意見を深めていただきながら、計画に盛り込んでいったらどうかと思います。貴重なご意見として受け止めさせていただきます。</p>

浅野委員	<p>藻谷浩介さんという方が、『デフレの正体』を書いて、5年前に村上で講演されましたが、やはりこのことを熱く説いておられました。</p> <p>結局、その人口の波が、こういうことを起こすということ、数字で裏付けをされていたと理解しています。数字はデータですから、あの方のおっしゃるとおり、事実は1つしかない。あらためた数字を入れていけば、必ずこうなるということです。</p> <p>その中で少子高齢化は、その増減の部分は実はそこだけではなくて、生産年齢人口の減少というのが、かなり少子高齢化ということを起こしていくということです。</p> <p>特に観光ということで、いわゆる商業ということになりますと、きちっと生産される方の年齢人口のところをもう少し何かやるとメリハリがついて分かりやすいのかなと思います。それがなければ、今、田辺委員が言われたとおり、このままで終わってしまうと思うので、その部分が強調されて、実は解決法、糸口はそこにあるということをお示ししていただければと感じたところです。</p>
事務局	<p>今の浅野委員の発言につきまして、ちょっと構成として見えにくい部分がございますが、29ページの将来の方向性の中で挙げている4つの雇用を増やし活気あるまち、人を引きつけるまち、若者が暮らしやすいまち、地域の連携と支え合いのまち、ということで統計データから出る生産年齢人口の減少が、特に女性の減少がこの村上市の人口減少のキーになっているというのは数字から明らかになっています。その辺の強調の仕方は、ちょっと下手だったかなという反省はございます。</p> <p>ただ、この4つの項目の中で、今の浅野委員が言われた、思いはここに詰めたつもりでございますのでよろしくお願いいたします。</p>
忠会長	<p>それではこの原案をもって了承いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」の発言あり。)</p>
忠会長	<p>ありがとうございます。なかなか厳しい課題でありますけど、将来に向けてこのような方向を示しながら、進めていければと思います。</p>
事務局	<p>今はあくまでもパブリックコメント案ですので、両委員のおっしゃった意見が、多く寄せられた場合、私どもとしても修正が必要という心構えがございます。パブリックコメントは後ほどご説明させていただきますが、最終的な決定は、また第4回の審議会ですので、今の委員の意見、それからパブリックコメントの意見、議会にも聞いておりますので、今日決定ということではなくて、市民の皆さまにお示しさせていただく案として出させていただきます。先ほどまで強気だったのですが、あまりにも多く意見が出た場合は、「すみません、直させてください」という話になるかもしれませんが、その辺も含めた上でお願いしたいと思います。</p>
[説明]事務局	<p>(2) 村上市総合戦略(素案)について  (資料3-1、3-2、3-3、3-4(政策の方向性I)について説明)</p>

<p>忠会長</p>	<p>今の説明もありましたように、この資料を用いますと、この後、4ページ以降もございますので、時間も限られていることから、ポイントを絞った意見をいただきたいと思ひますし、(1)の人口ビジョンにもありましたように、今日はパブリックコメントに出す案としての決議でございますので、金額等も含めてこれで決定するわけではございません。それを踏まえてご意見、ご質問をいただきたいと思ひます。</p>
<p>協坂委員</p>	<p>水産業の立場として意見を述べさせていただきます。</p> <p>先ほど説明を聞いたとおり、農林業の担い手の件で、水産業がここに入っていないということですが、われわれの水産業も高齢化になって、60代、70代の人がものすごく増えてきました。24年度から、県漁連の指導のもと、担い手対策として実際にやっております。若い人が現に3年たつて自分で船を買い求め、事業にも実際に入っております。まだ2人や3人の中では、これから組合を立ち上げるのは到底無理なことなので、今後はまだ県漁連や県と協力してやっていく予定です。</p> <p>残念ながら、やはり予算の関係で、1年に何人もという形では無理な状態なので、今後、こういう良い制度をこの計画にも載せてもらって、今後また担い手を育成してもらいたいと思っております。ひとつ、この担い手育成支援に、水産業の担い手育成についても何とか載せていただいて協力していただきたいと思ひます。</p> <p>もう1点なのですが、村上産品として魚は結構増えているのですが、皆さまご承知のように、単価がものすごく安くて無駄魚というのがものすごくあるのです。その中で、ここ2～3年で研究会の若い人と、婦人部がそれぞれ魚を加工しながら、店舗に出し販売している状況です。軌道に乗りつつあるのですが、ここでまた、この村上産品の販路拡大にも、われわれの魚を載せてもらって、何とかPRと一緒にさせてもらって、繁栄してもらいたいと思ひます。</p> <p>今のところ、われわれも大変厳しい情勢で課題は山積みです。取りあえず、この2点だけ、計画に載せてもらいたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>実は昨日、県漁連さんにお伺ひして、いろんな話もさせていただきましたが、委員のおっしゃった話と同じことをおっしゃっていました。</p> <p>事務局としましては、この主要施策3の「農林業」を「農林水産業」にあらためさせていただきます、これでパブリックコメントにかけたいと思ひています。ただ、事業の詳しい内容は検討しているところです。また、事業は、「主な」という書き方をさせていただきましたが、今説明しているこの資料は金額等が入っていますのでパブリックコメントに出しません。出すものはこの冊子ですので、「③漁業の支援」として記載するのは、当初は間に合わないというところがあります。</p> <p>これから早急に内容を検討させていただきますして、パブリックコメントの際に、この漁業の担い手育成支援事業の具体的な事業は出しませんけど、タイトルだけ「農林水産業の担い手育成支援」と書かせていただきます。次回までに内容が整理できましたら、その場でもう一回ご議論させていただいて、最新の決定の際に③として各事業の内容はこういうものですよという説明をさせていただければありがたいと思ひます。</p> <p>それから、もう一つの魚の関係については、まさしく村上産品の販路拡大のうちの、②④は十分使えますので、そこを活用していただくと、販路拡大の経費も含めまして、ご支援することができるかなと思っております。漁業とか業種は書いていませんが、十分ここに入る設計にさせていただいておりますので、</p>

<p>忠会長</p>	<p>よろしくお願ひいたします。</p> <p>最終段階で必ずやそういう文言が入るということで、事務局でも努力いただくということです。</p>
<p>漆山委員</p>	<p>この基本施策3にある、村上ブランドというものがあるのですけれども、私は2月にこちらに来ておまして、村上ご当地というのは、歴史文化、食、何でも揃っている貴重な資源が揃っている地域だなと思っておりました。これを活かさない手はないだろうと、常々考えております。</p> <p>その中で村上ブランドというのは、いったい何をもって村上ブランドというのか。非常に今までもよく分かっていない部分もあります。広義、狭義、それぞれあるかと思うのですが。この括りでいきますと、村上ブランドの育成と書いてありますので園芸品目を中心に村上ブランドと定義をしているのか。プラス村上牛、この下の堆朱というのはどうなのかというあたりが、いまだに分かっていなくて、できればこの機会にもしそういう定義のようなものがあるのであれば、お聞かせいただきたいなというところです。</p>
<p>事務局</p>	<p>村上ブランドについては、そのブランドの認証制度があるのかというと、実はございません。地産地消推進協議会でのブランドを名目に出したものはありますけれども、広義で狭義かどうかという解釈はいろんな意見がございますが、この総合戦略のつくりとしての村上ブランドは、これが村上ブランドという規定がない中で使わせていただいています。</p> <p>①の村上ブランド育成拡大事業の村上ブランドが、将来の村上ブランドになれるような品目をつくっていきましょうということで創設された名称なのです。では、それは何が村上ブランドなのかと規定がないままスタートしてしまい、この計画をつくるときも非常にそれで悩ませていただきました。</p> <p>村上ブランドの今の規定はございませんので、堆朱も村上牛も、もう村上ブランドなのだという形です。</p> <p>今後は、同じような意見が来る中で、ブランドは何だという議論はしていかなければいけませんので、第2次総合計画の産業部会などでブランド化に向けての動きについての意見交換をさせてもらったほうが現実的かなと思っております。</p> <p>この表現についての変更が、もしできるのであれば良いのですけれども、主な事業①の村上ブランド育成拡大事業というのは、すでに条例等に載っている事業ですので、この訂正は困難です。とはいえ、村上ブランドの生産拡大と担い手育成の村上ブランドという名称を消すこともご勘弁いただきたいと思っておりますので、総合計画の議論の中でその辺をきっちりさせていただければありがたいかなと思っています。ご指摘のとおり、はっきりした規定がないというのが村上市の現状です。</p>
<p>漆山委員</p>	<p>今後、戦略、計画を立案・実行していく上で非常に重要なところだと思いますので、そちらの協議をしっかりと進めていただきたいと思ひます。</p>
<p>忠会長</p>	<p>ありがとうございます。これにつきましては、私の出身母体である農業活性化検討会でもいろいろ議論されている最中です。お米は岩船米、岩船産コシヒカリが世間一般的に通っているのですが、消費地に行くと、村上という言葉のほうが、かえって多くの人を知っている。この際、岩船米ではなくて村上米にしたほうがいいのではないかという話もあつたりして、農業の中でも村上ブランドというのはどうなのだという議論が確かにあります。ですから、今回、</p>

	<p>事務局がお答えしたように、その辺をしっかりと議論していくきっかけになればと思いますので、そういった意味でご理解いただきたいと思います。</p> <p>いかがでしょうか。商工会の関連事業もずいぶんあろうかと思いますが、ここでご意見をいただければと思いますが。齊藤会議所会頭さん、ご意見があればお願いしたいと思います。</p>
齋藤茂委員	<p>私どもとしましては、農業、林業、水産業、全てにおきまして、村上商工会議所は、その物販とか、その他いろんなことに関わりがございます。皆さまをバックアップしていかなければいけないということです。</p> <p>それら全てをうまく結びつけて地域の活性化につながっていければいいと思います。今回のこの提案につきましては、全く結構だと思っていますので賛成しています。</p>
富樫委員	<p>村上ブランドの件ですけど、伝統産業の生産拡大に向けた支援、この中には、伝統的工芸品の指定になっている村上堆朱と、そのほかに羽越しな布もあるわけです。羽越しな布につきましては、東北と鶴岡市の活動におんぶに抱っこしている状況で、村上市からの補助はほとんど得られていないような実態です。後継者の問題にしてもそうです。そういうことでもう少し伝統産業をうたうのであれば、堆朱のほかに羽越しな布も入れていただければと考えております。</p>
事務局	<p>伝統産業の生産拡大に向けた支援は堆朱と羽越しな布と、2本立てで行こう、ということで先行型のときからずいぶん議論させていただいてきたところです。そうした中で、「堆朱のまち」だけを挙げさせていただきました。</p> <p>先日の戦略部会でも説明したのですが、堆朱と羽越しな布の絶対的に違うところは、堆朱はそれぞれの職の部分で伝統産業です。羽越しな布は山形までを中心とした地域のもので、地域おこし協力隊を入れてやりたいなということです。その設計が1年遅れますので、来年度の見直しの中で、羽越しな布を、地域おこし協力隊を募集するような制度設計にしたいということで、自治振興課と山北支所と検討していますし、市長からもその方に進めという指示を受けております。ここに載せきれなくて申し訳ありませんでした。見直しの中で必ず載せさせていただきたいと思っています。</p>
田辺委員	<p>村上には伝統的工芸品の堆朱もそうですし、サケ、お茶もそうですし、近年で岩船米とか、村上牛、県のほうでユリとかやっていますが、いろんなものがあるわけです。そういう商品を村上ブランドにするのか、あとは地域自体、村上地域のよさをPRすることもブランドではないかと考えています。次の方向性Ⅱにも関係するのですが、村上地域のブランド、村上の歴史文化伝統、あるいは祭りや行事と、そういうものと地域のブランドと、それと商品のブランドをセットにして、合わせて、両方の魅力を高めていって、相対的に、全体的な底上げを図ることが必要でないかと思っています。</p> <p>そのためには、先ほど認証制度と言っていましたけれども、商品については認証制度にしても大変だし、またそれをプロモーションしていくことも必要だと思います。そのために、しっかりどこかでコントロール、マネージメントする組織を立ち上げる必要があると思っています。そして観光も含めてPRしていく。そうすることで対外的に1つの地域ブランドとしてプロモーションしていくことも必要だと思います。今後、そういうものをしっかり位置づけていくことが必要だと思いますので、それについて今後取り組んでいただきたいと思います。</p>

<p>忠会長</p>	<p>ありがとうございました。今のご意見も先ほどのご意見に、さらに、ということ、体制整備も含めて真剣に検討してくださいという意見であったかと思えます。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>それでは、先を急ぐわけではないのですが、2番、3番、4番目までございます。最終的に全体を通じて意見をいただきたいということにさせていただきますので、次に進めさせていただきます。</p>
<p>[説明]事務局</p>	<p>〈資料 3-1、3-2、3-3、3-4（政策の方向性Ⅱ）について説明〉</p>
<p>浅野委員</p>	<p>①の観光プロモーションも今週で終わりということで、先ほども報告を受けたところでして、大変好評だということです。特に表参道、あの原宿からの界限は、文学者も含め著名人が圧倒的に多いです、また新潟、あるいは村上に親しい方もかなり多いということで、観光協会からもそれぞれ個人に発信させていただいていました。</p> <p>これにつきましては、地域審議会でも、もうちょっと詳しい情報を上げろと言われたのですが、在京の方がレストランあるいはカフェに行って、そこからSNSで発信していくのを狙っているという博報堂さんの1つの戦略があるものですから、数字が上がってくるのを楽しみにしています。</p> <p>あと、観光物産展につきましては、前々から仙台駅を狙っておりました。なぜ仙台かということ、村上市観光協会には、米沢や飯豊から、特にインバウンドの横軸ということで、仙台経由のツアーもかなり増えております。この仙台で何かしらできないかということは数年前から話があって、これが形になってくると理解しております。</p> <p>③につきましては、ここに書いてある通りですので、代えさせていただきます。</p> <p>2番目のインバウンドなのですけれども、特にこのハード部分につきましては、新潟県も一生懸命進めているところです。ここについて、村上市が引き続き発展させて、特にWi-Fiについては必需品ですのでこれをもう少し広げていくということで進めているところで期待しているところです。</p> <p>また、海外のインバウンドの商談会ですけれども、2組ほど成約いたしております。この海外におけるPRの実施というのは、村上市においてはグラウンドでいうと2～3周遅れており他の市町村では当たり前に行っているところも多い中、今年初めて参加したということです。</p> <p>今後は通訳の問題もありますし、現地のプロモーションを行うスタッフ等の問題が出てまいります。そのようなところも含めて、包括的にもう一段進めるべきではないかと、これは私的な意見も含めて、観光協会でもまだ議論の結論は出ていませんが、今後の課題として、また希望として出てくる必要があるのかなと考えています。</p> <p>団体バスの補助事業については、今お話のとおり大変好評で、特にこの10月、11月、かなりのバスの入れ込みがあると理解しております。これは、4月1日より観光バス事業の規制が非常に厳しくなり、全国一斉、300キロを超えるところはなかなか進めない。旅行の見積もりができないというところ、村上市の場合はそこを察していただきまして、どの市町村よりも早く手を打っていただいたと理解しているところです。</p> <p>また、観光ガイド養成事業につきましては、先だって修了証書を行ったところです。市民の方が熱心に参加されておられました。</p> <p>右にも観光イベント補助事業、新規も含めて3つ出ております。これらにつきましては、特にスポーツ体験プランの開発というのは、今言ったように宿泊関係もございます。先ほど、グリーンツーリズムというお話がありましたけれ</p>

	<p>ども、あれはおそらく、ここでは盛り込まずに、別の定住の里づくりアクションプランでもたくさん出ておりましたし、今、いわゆる民泊という新しい宿泊施設が足りないということで、テレビ等でかなり出ております。旅館業法との関係もあるのですけれども、これらも含めて、柔軟に対応していく必要があると理解しています。</p>
事務局	<p>今のご意見は、先ほども言いましたように、この事業はPDCA でやるということですので、その検証の中で今のような意見が活かされていくのではないかと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
渡辺ひろみ委員	<p>今の意見を受けてなのですが、地元の人との交流を狙うという目的であれば、やはり民泊だったり、ゲストハウスの設置はとても魅力的かと思います。長期滞在が可能になるということだし、リピーターにつながると思います。観光地で温泉への宿泊を、というのも大切かと思いますが、地元の人との交流というのは、新しい販路拡大につながるかと思います。</p> <p>もう一つ、外国人の観光客のための、市内の移動手段の充実が村上市はどうかかなと考えています。レンタサイクルの設置があると思うので、そのレンタサイクルを充実したらどうかと思います。</p> <p>あとは、市外への移動も大きなカギを握ってくると思いますので、観光客の方は自家用車では来ないですので、団体バスだったり、そういった交通手段の充実を図ったらどうかと思いました。</p> <p>新潟村上カフェは東京、関東圏の方は非常に反応していらっしゃいました。こういうカフェを、また今後も開催予定なのかお聞きしたいです。そして、すべきだと思います。</p>
忠会長	<p>もうお一方、リハビリ大学の山村委員からは、確か村上市との包括連携の中で、いろんな取り組みをされていくということもあるようです。そういった視点からの意見があればお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
山村委員	<p>私自身、村上の人間ではなくて、新潟から通ってきているので、実際のところよく分からないのですが、何日か前に、本学の教員たちの中で、学生をこういった観光のほうに提供できないか、学生観光大使みたいな形で交流できないかという提案がございました。若者を活用するという中で、こちらの観光にも本学の学生を活用いただければと思っております。</p>
事務局	<p>レンタサイクルは戦略部会で取り下げさせていただきました。この主要施策2の④にレンタサイクルがあったのですが、運営組織の詰めまでができなくて、PDCA の中で再検討するというので、1年先送りをさせていただきました。二次交通のワンコインのタクシー助成とかの声も聞いていましたので、また PDCA の中で検討したいと思います。カフェについては、来年やるかどうかは検証結果次第だと思います。先ほど浅野委員も数字が上がってくるのが楽しみとありましたが、いろんな数字が上がってくると思いますので、ご説明できる機会があったらご説明させていただきたいと思います。</p>
忠会長	<p>ほか、いかがでしょうか。特段なければ、また後ほどの全体的にというところでご意見をいただきたいと思います。</p> <p>それでは政策の方向性の3番目、政策の方向性Ⅲ「結婚、出産、子育てしやすい環境づくり」、お願いします。</p>

[説明]事務局	〈資料 3-1、3-2、3-3、3-4（政策の方向性Ⅲ）について説明〉
渡辺ひろみ委員	この先行型チャレンジプランに載っていないものに関しては今年度やらないということですか。
事務局	今のところ、この新規の部分は来年度予算をつけて、平成 28 年 4 月 1 日からの予定でいます。
渡辺ひろみ委員	家庭保育園の支援強化なのですけれども、このファミリーサポート制度の充実ということに関しては来年度、取り組む予定はないのでしょうか。
事務局	あるのですが、総合戦略のほうに記載できませんでした。受けてくれる方との調整がついていなくて、新規で載せたいという意向はありますので、ちょっと研究時間をいただき、28 年度当初は無理かもしれませんが、充実ということで 29 年度あたりから顔出しさせていただきたいと思います。総合計画の中にも、そのようにご議論いただければと思います。
渡辺ひろみ委員	土曜日の子育て支援センターの開設は大変ありがたいことだと思うのですが、雨の日や雪の日等に、子どもを連れた親子が行けるような場所の設置といえますか、そういった動きというのは、市のほうで来年度取り組む計画はありますか。
事務局	今のところは、平成 28 年度には載ってこないと思います。子育て世代の方から聞きますと、休みの日に遊べる場所が少なすぎるというのは、地域審議会の方からも意見をいただいています。何とか総合計画の中のそれこそ子ども部会のほうできっちりとした協議をしていただきたいと思います。声としては一番多く寄せられていると十分認識しておりますが、平成 29 年度からの総合計画の中で検討させていただきたいと思っています。
忠会長	いろいろ細かい部分でご意見、ご質問があろうかと思えます。これが決定で、このほかはないということでは決してございませんので、そういった観点でのご意見、ご質問をお願いしたいと思います。ほかにいかがでしょうか。
[説明]事務局	〈資料 3-1、3-2、3-3、3-4（政策の方向性Ⅳ）について説明〉
斎藤俊則委員	定住者の増加という面からですが、こういった空き家バンクを利用した形は非常に私自身も興味を持っていますし、市でもこういった形で協力的に動いていただけるということは、非常にこれからの人口増につなげるとてもいい方向性ではないかと思えます。 また、補助金等も、個人的に言えば、定住するにしても移住するにしても、金銭面での制約がかなりあるのではないかと思うので、もうちょっと増やしていただけるようなシステムを取っていただければと思います。ただ、地域的に魅力があるからここへ引っ越してこようといったものの中にあるかと思いますが、経済的な面もいろいろ絡んでくると思いますので財政的に厳しいとは思いますが、そういったところも今一度、考慮いただければありがたいと思います。以上です。
事務局	他市では転入しただけで 100 万円とか 200 万円とか、それから転入して新築したら「はい、300 万円」とやっている自治体もございまして、いろいろ調べ

	<p>てはいるのですが、まだそこまで踏み込んでいないというのが現状で、ちょっと推移を見守っていきたいと思います。</p>
大嶋委員	<p>市内からは、家が古くなったという場合、どういうところが空き家等の貸付などをしてくれるのでしょうか。</p>
事務局	<p>自治振興課が現在の窓口で、それまでは政策推進課で所管しておりました。市外の人にやさしいけど、市民に冷たい制度だとそのときに言われました。課題としては、市内の転居と賃貸でも利用できるようにすることは検討しております。ただ、市内転居で利用できるようになりますと、山間部からの移動を誘発したりいろんな弊害があるのかなというのがあります。ニーズとしてはいただいていますので検討しているところです。</p>
大嶋委員	<p>母子世帯でも、安いところがないかという話も聞こえてきますので、ひとつよろしくをお願いします。</p>
会田委員	<p>昨日の新聞で地方創生の関連する事業の県内で採択されたものが出ております。この中に9市、新潟市を含めて採択されてあるようです。これは村上市が出遅れたのか、その辺教えてほしいのですが。</p>
事務局	<p>出遅れました。総務省の事前協議が8月までに済んでいないと駄目だと言われていました。今、ご議論いただいているこの総合戦略が8月末までにある程度形が見えていて、途中で諦めさせていただいたというのが正直なところであります。</p>
富樫委員	<p>この空き家バンク制度ですけれども、これは賃貸や売買とか、申請によって処理していると思うのですが。最近では、空き家の数が増えていますし、その中で危険な建物もございます。これから冬になれば山間地では雪による危険性、浜のほうでは北風によって瓦が飛んだり、いろいろなことで危険を伴っております。そういうことで空き家を利活用ということではなくて、空き家調査または危険家屋の調査を含める必要がないのか。そこはどういう扱いになっているのか。</p>
事務局	<p>所管は市民課ですが、現在のところ、この空き家バンク制度を立ち上げるときに区長さんにご協力いただきまして、全部の調査をやらせていただきました。その後、実はやっておりません。必要だということは重々承知しております。現在の運用を見ますと、「危険な空き家をお知らせください」という形で市民課でやっている現状です。全体的な空き家調査について、今、富樫委員のおっしゃった形で、庁内できちんと議論したかということ、議論をしていませんので、そういう意見がありましたということについて担当課に伝えます。現在のところ具体的な話はされていないと思います。</p>
富樫委員	<p>その調査をすることによって、空き家バンクへの登録件数も増えてくる可能性もありますし、賃貸、または売買等も増えてくるかと思っておりますのでぜひお願いしたいと思います。</p>
忠会長	<p>ありがとうございます。今のご意見も今後の検討に活かしていただければと思います。</p> <p>以上4つの視点からご意見をいただきました。もう少し時間がございま</p>

<p>協坂委員</p>	<p>すので、全体を通じてご意見があれば承りたいと思います。どうぞ、ご意見のある方は挙手をお願いします。</p> <p>洋上風力発電の事業に対してです。この洋上風力が始まってから2年近くになると思うのですが、具体的に先が見えてきたというか、粟島汽船の航路そのものも、先日決定したという形で順調に動いているようです。ただ、この先、問題なのは、村上のサケとか、そういう重大な問題も出ているので、三者で話し合いながら、どういう調査をすればいいかこれから検討に入るところです。</p> <p>もう少し、この先を見込んだものとして案を練ってもらいたいという感じがするのですが、いかがでしょうか。環境課とはいろいろ話をしているのですが、それを踏まえたもので、もっと先を見込んだ内容で検討していただきたいと思っています。</p>
<p>事務局</p>	<p>洋上風力発電施設ができますと、まちづくりが変わると思っています。観光の施策も手法も変わってきますし、それに対する雇用の関係等、それこそ、まちづくりは変わってくると思います。</p> <p>ただ、今、協坂委員がおっしゃったように、これからの議論でありますので、第2次総合計画というのを今後ご議論いただきますが、何年までつくるのか、それに備えた体制はどうするのかという議論は出てくると思います。ただ今の段階は、まだ具体的なものはないので、次のステップまでは「それを活かしてまちづくりはどうなるのだ」という話になると思っています。</p>
<p>忠会長</p>	<p>この件につきましては、広く市民の皆さまにご理解、納得いただくような形で進めていきたいという市長のご意向もあるようです。今、事務局がお答えしたような、その中でさらにまたご意見をいただきたいと思っています。よろしくお願いします。</p>
<p>田辺委員</p>	<p>全体の中で、1つの目的は人口減対策ということですがけれども、先ほど人口ビジョンの中にもありましたけれども職業と求人のミスマッチがあるということで、それを県でも担い手対策ということでやっていますけれども、その意識づけを中学校や高校でやっていく必要があるのでは、その辺を盛り込んだほうが良いのかなと思います。村上には農林水産業の事業もあるし、大手の企業も来ているのだけれども、なかなか村上から幹部職員が来ないという話も聞いています。その辺はしっかり担い手対策を行い、彼らが戻ってきた時、村上にどんな仕事があるのか、中高生の教育に入れていくようにしなければなりませんし、観光業もやっていく必要があると思います。この中には間に合わないかもしれませんが、今後、取り組んでほしいと思います。</p>
<p>忠会長</p>	<p>ありがとうございます。ハローワークの長柄所長さん、今の田辺委員さんの発言にもありますけれども、広くそういった観点からもご意見をお願いします。</p>
<p>長柄委員</p>	<p>個別の施策の方向性とか、各事業についてどうこうということではないのですが、こういったことをなぜ進めるのかということ、地域の活性化、人口を増やしていくということだと思います。せつかくこういう良いものを、事業だてをする中で、見ていますと、現在ハローワークは、求職者、仕事を探す方が減っております。年度単位で見ますと、平成21年度以降、前年度比、6年間減少が続いていますし、月単位で見ますと前年同月比で18カ月連続減少している状況で、非常に人が来ていない。その中で何とか来ていただきたいということもあります。</p>

<p>忠会長</p>	<p>そういった中で、村上の場合はUI ターンの情報発信がどうなのでしょう。今日いただいた資料は、企業実態調査の結果報告書を踏まえた今後の施策の方向性という中で、UI ターン促進に向けた支援といったことも載っております。</p> <p>ここでいただいた資料にいろいろな事業がある中で、例えば雇用だけではなくて、もう一步、上をいった担い手等も含めた就業という観点であるとか、あるいは暮らしやすさという観点を事業というのは、いろいろ盛り込まれていますから、そういったものを情報発信するような仕組みを一方で考えていただきたいと思います。</p> <p>例えば地元から出られた方をターゲットにした情報発信もあるでしょうし、地元縁のない方に対する情報発信もあると思います。そういった視点もできれば配慮いただければと感じました。</p> <p>広くご意見をいただいたところですが、冒頭申し上げましたようにパブリックコメントという形で市民の皆さま方からご意見をいただく機会や期間も設けさせていただくということですので、このたびお示したこの案につきましてご了解いただければありがたいと思います。皆さま方の賛同を得て決定させていただきたいと思います。これでご理解いただくという形でよろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」の発言あり。)</p>
<p>事務局</p>	<p>最後のほうに PDCA ということで、最後はこのような形で PDCA サイクルを取り込んでいくこととなっております。PDCA サイクルの、KPI の最後のほうに、「評価にあたっては学識経験者や市民の意見を踏まえながら行うものとしませう」と記載していますが、「行われなければならない」となっておりますので、また皆さま方と、そのあり方などをご協議いただく機会があれば、またご相談させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>忠会長</p>	<p>ありがとうございました。そういうことですので、またご協力をよろしくお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>5. その他</b></p> <p>明日から、先ほどの農林水産業の部分などを直してパブリックコメントに入らせていただきたいと思います。何度も言いますが、18日までやった結果を、私も、もう一回練らせてもらいますので、その中で変えようと思うものは、次回 11 月 26 日に最終案でまとめさせていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>忠会長</p>	<p>ありがとうございます。次回の日程も今提案いただいたところですので、これにつきましてはいかがでしょうか。</p>
<p>大嶋委員</p>	<p>11 月 26 日は社会福祉協議会の会議と重なっていますので、出席ができません。</p>
<p>事務局</p>	<p>他にも都合がつかない委員もおられるようですので、メール等活用させていただいて、日程は再度検討させてください。今の 11 月 26 日の案は、決定ではなくて保留でお願いしたいと思います。</p>

忠会長	<p>では保留ということで改めて皆さん方に問いかけをしてもらいます。よろしくお願ひします。お返しします。</p>
事務局	<p>次回の第4回の際に、総合計画の中間総括のほうを何とかお示しさせていただきたいということで頑張っていますので、よろしくお願ひいたします。次回はパブリックコメントの整理と、今回予備的でできなかったのですが、総合計画について着手するというイメージでいただければと思いますのでよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>大変長時間にわたりありがとうございました。 では、明日からパブリックコメントということで発表していきたいと考えています。次回につきましては、後でご連絡するというにしたいと思ひます。</p>
佐藤委員	<p><b>6. 閉会</b> 〈あいさつ〉</p> <p style="text-align: right;">以上</p>